

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス LUMO東大阪校		
○保護者評価実施期間	2025年1月22日		～ 2025年2月8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2025年1月22日		～ 2025年2月8日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月11日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者とスタッフの距離感が近く、保護者の方もスタッフに相談しやすい、スタッフも利用者の様子をすぐにお伺い出来るという関係になっている	小さな事でも情報の共有を行っている事や、スタッフが笑顔で対応をしている事。 なるべくお聞きした内容はセッション内で取り入れたりと目に見える範囲で反映出来る様に取り組んでいる	今後も保護者の方とは話しやすい、聞きやすい環境作りを継続するとともに、要望を反映出来るように心掛けていきたい。
2	清潔で綺麗な空間を維持できている。	毎日出勤後に換気を行い運動室、事務所は掃除機、モップ、アルコールスプレーで掃除をし、運動用具についてもマットは天気のいい日に干し、リングや平均台についてもアルコール消毒を行っている。 社用車については通明けは掃除機で中を掃除し、その他の曜日に関しては換気と座席にアルコールスプレーをかけ消毒を徹底している。	今後も清潔な運動室で安心して過ごしていただけるように掃除や消毒を徹底していく。
3	個別計画に沿った支援を利用者に提供出来ている	支援会議で利用者にあった内容をスタッフ同士で話し合いをし、最善であるものを反映し、セッション内でも実践を行っている為、計画に沿って利用者の成長が見られている。	スタッフ同士が更に利用者に対しての最善を考えていき、思った事はすぐに共有し、より良いものを校舎の中で構成出来る様に心がけていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学校、幼稚園との連携が少ない	利用者が通学、通園している学校や園との交流が少なく利用者の共有もほとんどないのが現状である。	利用者の特性や癇癢、他害などのクールダウン方法などの共有を行い、利用者が落ち着ける環境を増やせる様に連携を増やしていく。
2	保護者が事業内を見る事が出来ない	母子分離である為、保護者の方が本校でどんな取り組みを利用者がしているのかを自分の目で見る事が出来ない。	現在も継続して行っているが写真、動画で本校の取り組みを保護者の方にお送りし、利用者の出来る事、頑張っている事の共有を更に増やしていく。 また、可能なのであれば1度でもいいので参観の機会を設けていきたい。
3			